

■ 開設年度		■ 開講部局	
2014		共通教育	
■ 科目名			
経営哲学			
■ 英語科目名			
Management Philosophy			
■ 前後期	■ 開講区分	■ 科目形態	■ 単位数
前期・後期	毎週	講義	2
■ (2 5 年度以降入学生) 中分類		■ (2 5 年度以降入学生) 小分類	
b. 知力：人文・社会科学		11. 経済・経営を学ぶ	
■ (2 4 年度以前入学生) 大区分		■ (2 4 年度以前入学生) 中区分	
教養科目		分野1	
■ 受講学部学科			
全			
■ 担当教員		■ 担当教員所属	
奥健一郎		稲盛アカデミー	
■ 連絡先 (TEL)		■ 連絡先 (MAIL)	
099-285-8329		koku@eng.kagoshima-u.ac.jp	
■ オフィスアワー (授業時間外の対応)			
講義終了後。もしくは時間調整の上で実施。			
■ 共同担当教員			
■ メインキーワード		■ サブキーワード	
■ 授業概要 (目的・内容・方法)			
1. 経営フィロソフィの核心と現代的意義について講義する。			
2. 京セラ・KDDI 創業者の稲盛和夫氏をとりあげ、そのマネジメントの特色、歴史的意義、背景等について講義する。			
3. 経営哲学から見た日本型経営の特色と、その発展のあり方・可能性等について、様々な経営者のケースを取り上げて、多角的視点から講義する。			
取り上げる経営者は、以下を予定している。			
・松下幸之助 ・盛田昭夫 ・井深大 ・佐治敬三 ・塚本幸一 ・吉田忠雄			
・カルロスゴーン ・小倉昌男 ・鈴木敏文 ・樋口廣太郎 ・永守重信			
■ 学習目標			
今、経営に求められている根本的な考え方とは何なのか？ということについて、様々な観点から講義する。			
昨今数多くの企業の不祥事が発生していることにつき、原因と打開策及び従業員のマネジメント等を、多種多様な経営者のスタイルを学ぶことを通じて、現代の経営のあり方を自分なりに結論づけることを学習目標とする。			
会社内の部課をまとめあげていくことも経営であるので、入社後も、各々の受講生が役立つような実践的講義を行う。			
■ 授業計画 (1 5 回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
第 1 回 哲学とは何か？			
第 2 回 経営にとって、なぜ哲学が必要なのか？ (1)			
第 3 回 経営にとって、なぜ哲学が必要なのか？ (2)			
第 4 回 稲盛和夫氏の経営の特色 (1)			
第 5 回 稲盛和夫氏の経営の特色 (2)			
第 6 回 稲盛和夫氏の経営の特色 (3)			
第 7 回 世界の経営哲学の潮流			
第 8 回 企業リーダーシップのあり方 (1)			
第 9 回 企業リーダーシップのあり方 (2)			
第 1 0 回 日本型経営の特色と、その可能性			
第 1 1 回 経営者事例研究 (1)			
第 1 2 回 経営者事例研究 (2)			
第 1 3 回 経営者事例研究 (3)			

第14回 経営者事例研究(4)

第15回 結び

■ 授業外学習(予習・復習)

フィードバックシートを通じて、復習をしっかりとやること。

■ 受講要件

なし

■ 成績の評価基準

授業中のフィードバックシートとレポートで総合的に成績評価をする。授業中の小テスト5割、レポート5割が大まかな目安。

■ 教科書

参考書と資料配付を教科書的に利用。

■ 参考書

講義中に指示する。

■ その他

前後期共、同内容の講義を行う